

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	13-	9
事業名	空家等対策経費	
会計	款	項
一般	8	4
課名	建設課	
係名	都市計画係	
施策	1 安全・安心なまち	
	1-2 住みやすいまちをつくる	
	1-2-1 市街地・居住環境の整備	
主要施策	②良好な住宅地の形成	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の空家	目的 (対象がどのような状態になっているか)	空家の適正な管理が行われ、また空家利用希望者が利活用できていく状態
事業内容	東員町空家等対策計画に基づき、実態把握(定期的な空家等調査・所有者等への意向調査)、発生抑制・適正管理(所有者等への啓発、適正管理の促し)、利活用(空き家・空き地情報バンク制度の充実)を行う。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1	空き家・空き地情報バンク制度登録件数			0	件		2	
2									
3									
4									
5									
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					169		2,634		
財源内訳	直接事業費 A				169		126		
	うち一般財源				169		126		
人件費(千円) B					0		2,508		
内訳	一般職員(人・千円)				0		0.38		
	臨時職員(人・千円)				0		0		
						2508		0.19	
						0		1254	
						0		0	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減		A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	所有者自らの責任で適正に管理することが前提となるが、現代社会では、問題が複雑化し、所有者だけでは解決することが困難となっている。
②H30年度に実施した取り組み	東員町空家等対策計画に基づき、実態把握、発生抑制、適正管理、利活用を推進を行った。また、空家バンク利用促進に向け桑名・四日市協会への再アプローチ。	④今後の改善計画	町民・地域・NPO、行政が連携し、空家等の対策を進め良好な生活環境維持に努める。